

株主の皆様へ

**TAKAMAZ**  
高松機械工業株式会社

証券コード:6155

# 第65期 株主通信

2025年4月1日～2026年3月31日

## OUR CHALLENGE TO 2027



### CONTENTS

#### ● 社長インタビュー

第65期の振り返り、第66期の見通し、  
MVV及び中期計画2027の進捗と二年目の目標

#### ● トピックスのご案内

展示会での熱量  
ESG活動への積極的な取り組み  
製品開発への飽くなき探求心

### DATA

- セグメント別概況
- 連結財務諸表
- 会社情報・株式情報

#### 表紙画のご紹介

#### 獅子吼高原(ししくこうげん)山頂からの眺望

獅子吼高原は、石川県白山市にある標高約650mの高原で、白山連峰、手取川扇状地、加賀平野、日本海まで一望できる絶景スポットです。頂上までは歩いて登ることもできますが、ゴンドラも整備されているので、気軽に訪れることができます。春から秋にかけてはパラグライダーやハイキングなどのアクティビティを楽しめ、四季折々の景色を満喫でき、心身のリフレッシュにも最適です。

その他、石川県の旅情報は  
[ほっと石川旅ネット](#)を  
ご覧ください。



<https://www.hot-ishikawa.jp/>

# ● 社長インタビュー



## 中期計画2027 二年目 挑戦を重ね、モノづくりの力で 企業進化を実現します

代表取締役社長 **高松宗一郎**

### Q 第65期(2026年3月期)の振り返りをお願いします。

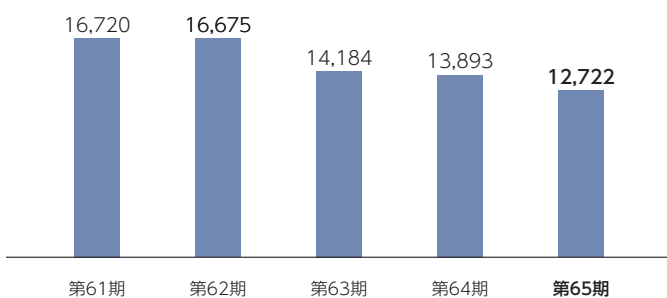
**A** 工作機械業界全体においては、期初より米国通商政策の影響による外需の減少や、国内自動車関連企業における需要低迷の影響を受けました。一方で、期後半にかけては海外を中心に需要が回復し、復調の兆しがみえてきました。

当社グループは中期計画2027の初年度として、計画に基づき生産・販売の両面で精力的に活動を進めました。期初からの市場環境の厳しさから受注獲得に苦戦を強いられましたが、年間を通じて機動的な販売活動を展開した結果、通期の連結受注高は第64期を超える132億93百万円(前年同期比11.6%増)となりました。しかしながら、期初の受注低迷が響いたことにより売上目標には届かず、売上高は127億22百万円(同8.4%減)となりました。

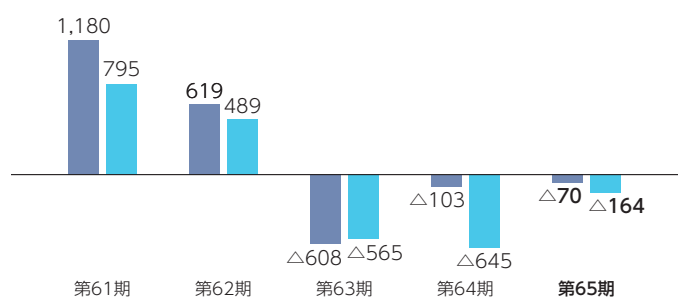
このような中、生産面では、部門間で情報を適切に共有し、連携を強化することで短納期対応に努めるとともに、需要回復を見据え、生産性と社員のスキル向上を推進しました。開発面では、アジア向けの新戦略機種である「AT-1」や、両端加工機能(後述のトピックス「製品開発への飽くなき探求心」をご覧ください)をはじめとした新機能の開発に取り組みました。

販売面においては、自動車関連企業との取引継続と販路拡大を推進するとともに、その他新分野への販売にも積極的に取り組みました。国内では老朽化設備の更新需要の取り込みなどを目的とした営業キャンペーンを実施するなど集中的な販売活動を行い、海外では通常の営業活動に加え、ディーラとの取引拡大にも注力しました。IT関連製造装置事業では、新規取引先との取引開始及び既存取引先における新規案件の獲得に注力しました。

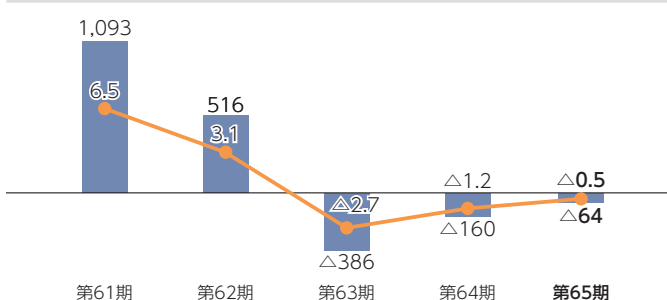
■ 売上高 (単位:百万円)



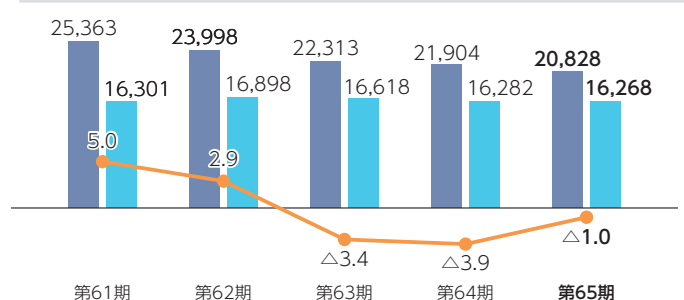
■ 経常利益 ■ 親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



■ 営業利益 ● 売上高営業利益率 (単位:百万円,%)



■ 総資産額 ■ 純資産額 ● 自己資本利益率(ROE) (単位:百万円,%)



## Q 第66期(2027年3月期)の見通しを教えてください。

A 中東情勢など依然として不透明な事業環境が続く中ではありませんが、工作機械事業においては、前期より継続してきた生産・販売両面での取り組みの効果が徐々に表れており、受注も回復基調にあります。今期はこの良い流れを維持・拡大し、確実に成果へと結び付けていくため、生産・販売における各種施策に加え、新組織・新人事の下、改革を進めていきます。

生産面では、全社最適の観点から生産活動における様々なムダ・ムリを洗い出し、その一つ一つを解決することで高い品質を維持しつつコストの最小化をはかる施策を継続的に実施していきます。販売面では、営業活動量の確保に加え、活動の質を重視し、受注確度を高めるための各種施策を推進していきます。

組織・人事面では、従来の工作機械事業本部を、工作機械生産本部と工作機械営業本部に分割し、より機動的な意思決定を可能とする体制へと再編しました。さらに、海外拠点との連携を強化するために、各国の拠点を欧米営業グループと、アセアン営業グループに編成することで、全体として意思決定の速度を高め、効率性を追求した組織体制としました。

このほか、成長が見込まれるIT関連製造装置事業については、既存取引先との取引拡大に加え、半導体製造装置にとどまらず、IT関連向けの素材や設備などに関連する企業へのアプローチを積極的に行い、新規取引先の開拓を進めていく方針です。

これらの取り組みを着実に実行することで、今期の業績回復につなげていきたいと考えています。

### 2027年3月期連結業績予想

売上高	148億4百万円 (前年同期比16.4%増)
営業利益	1億51百万円 (前年同期は64百万円の営業損失)
経常利益	1億79百万円 (前年同期は70百万円の経常損失)
親会社株主に帰属する当期純利益	1億33百万円 (前年同期は1億64百万円の親会社株主に帰属する当期純損失)

## Q 前期より開始した新しい取り組み(MVV、中期計画2027)の進捗と、二年目の目標について教えてください。

A まず、前期に策定した「MVV(ミッション・ビジョン・バリュー)」についてお話しします。このMVVは、社員一人一人が同じ方向を共有し、当社グループとして目指す姿に向かって行動するための拠り所として定めたものです。当社グループがこれからも成長を続けていくためには、社員と会社が価値観を共有し、日々の仕事の中でそれを実践していくことが何より重要だと考えています。

そのため、前期は定期的な教育や説明の機会を設け、MVVの考え方を全社員に浸透させることに注力しました。二年目となる今期は、引き続き理解を深める取り組みを継続しつつ、MVVに基づいた行動が自然と日常に根付くような仕組みづくりを進めていきます。

「中期計画2027」の進捗では、初年度は「値決め(価格決定プロセスの再構築)」、「営業体制強化」、「全社バリューチェーン最適化」の三つを重点課題として取り組みました。「値決め」については、社内システムの活用を進めることで、これまで見えにくかったコストの可視化に取り組みました。これにより、適正な価格を検討するための社内

指標を整備しています。「営業体制強化」では、営業担当者が本来注力すべき顧客対応により多くの時間を割けるよう、営業情報の共有方法やバックオフィス業務の見直しを進めてきました。「全社バリューチェーン最適化」では、顧客ニーズの把握から提案、受注に至るまでの各プロセスを見直し、課題となっていた点を一つずつ改善してきました。

これらの取り組みと並行して、「データ一元管理化」、「人的リソースの最適化」、「コスト削減」にも着実に取り組んでおり、いずれも少しずつ成果が表れ始めています。

二年目となる今期は、これら六つの課題への取り組みを継続・深化させるとともに、「収益基盤の強化」、「技術・研究開発の強化」、「グローバル戦略再構築」、「事業ポートフォリオ見直し」といった中長期課題についても、具体的な施策をもって前進させていきます。

※MVV(ミッション・ビジョン・バリュー)、中期計画2027の詳細につきましては、以下の二次元コード、URLよりアクセスの上、ご確認ください。



## Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 私たちを取り巻く事業環境は、世界情勢の影響を受け、大きな変化にさらされ続けています。当社は中期計画2027に基づく各種施策を着実に実行し、長期ビジョンに掲げた「お客様のモノづくりを支え続けるグローバル・ソリューション・カンパニー」へ進化することで、安定した収益の確保と持続的な株主還元を実現してまいります。

株主還元につきましては、1株当たり年間10円を下限とする配当水準を維持するとともに、配当性向を40%程度とする方針のもと、第65期は年間10円(中間5円、期末5円)の配当としました。第66期は年間10円(中間5円、期末5円)の配当計画ですが、業績回復及び利益成長に応じて株主還元の充実をはかっていきます。今後も、株主の皆様のご期待にお応えできるよう、この厳しい環境を乗り越え、着実な企業価値の向上に取り組んでまいります。引き続き、変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

MVV(ミッション・ビジョン・バリュー) 詳細はこちら  
▶ <https://www.takamaz.co.jp/company/overview/>



中期計画2027 詳細はこちら  
▶ <https://www.takamaz.co.jp/ir/management-plan/>



# ●トピックスのご案内

## 展示会での熱量

### METALEX2025への出展

2025年11月下旬、当社はタイのMETALEX2025に出展しました。当展示会では、各種主力の新機種とともに、アジア地域向けの新たな戦略機種「AT-1」を発表しました。「AT-1」は長年好評を博してきたGSLシリーズの最新機種で、数多くのアップデートがなされた機種です。当機種は来場されたお客様の目を引き、たくさんの問い合わせをいただきました。今後アジアを中心としての販売拡大が大変楽しみです。



### MEX金沢2026への出展

2026年5月中旬、当社はMEX金沢2026に出展しました。当展示会は地元・石川で開催される大規模な展示会で、県内外から多くのお客様が来場します。当社も毎年積極的に参加しており、今年は複合加工機の新機種「XYT-65Y」をはじめ、当社の新たな取り組みを感じられる多彩な展示を行いました。いずれの展示も多くの来場者から高い関心を集め、大きな反響を得ることができました。



新機種「XYT-65Y」

## ESG活動への積極的な取り組み

### 石川県ワークライフバランス企業知事表彰「優良企業賞」の受賞

当社は、令和7年度石川県ワークライフバランス企業知事表彰「優良企業賞」を受賞しました。当表彰は、ワークライフバランスを実現するための職場環境の整備等を積極的に取り組み、優れた成果がみられる企業を県が表彰するものです。当社は男性を含む育児休業制度を含め多様な休暇制度を整備し、取得を奨励しており、日々の業務においては残業抑制のための様々な取り組みを積極的に行っています。今回、これらの取り組みが評価され受賞となりました。引き続き働き甲斐と働きやすさを両立した魅力ある会社を目指していきます。



## 製品開発への飽くなき探求心

### お客様のニーズを満たす両端加工機能の開発

当社では、製造現場での省力化・自動化を進めるため、1台で複数の加工ができる工作機械の開発に取り組んできました。その中でも、切削する対象物を付け替えることなくそのまま両端部分を切削できる「両端加工」の機能は、難易度の高い技術であり、以前は特定のお客様向けにのみ開発・提供されていたものでした。

しかし、日々の販売活動を通じて、この両端加工機に対するニーズが自動車業界をはじめ多くの分野で高まっていることが分かりました。そこで当社では、営業と開発が連携し、研究を重ね、オプションで両端加工機能を付加できる「XYT-51」や、汎用的に両端加工に対応できる「XTL-8MYS」といった機種を開発しました。現在、これらの製品には多くのお客様から問い合わせやご注文をいただくなど、注目を集めています。



XTL-8MYS



XYT-51

両端加工の様子はこちらのURLもしくはQRコードよりアクセスして確認できます。

▶ <https://youtu.be/gfUXHyankWo>



## ●セグメント別概況

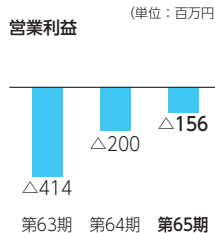
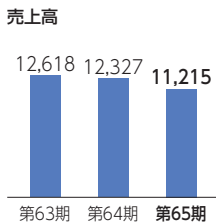
売上高  
構成比



### 工作機械事業

売上高 **11,215** 百万円  
(前年同期比 9.0%減)

営業利益 **△156** 百万円  
(前年同期は△200百万円)

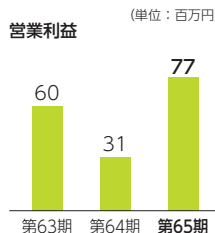


- 上期は米国通商政策の影響や、主力取引先である自動車業界の低迷により、受注・生産ともに伸び悩み
- 営業強化や生産効率化の各種施策の効果が表れ、下期には受注、売上ともに回復基調へと転換
- 営業利益は依然厳しいが、生販双方の施策により徐々に改善の傾向

### IT関連製造装置事業

売上高 **1,338** 百万円  
(前年同期比 3.2%減)

営業利益 **77** 百万円  
(前年同期比 143.2%増)

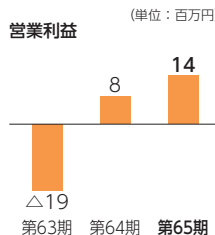
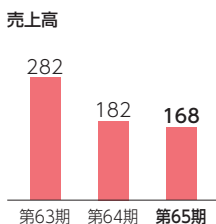


- 一部取引先の生産調整の影響を受けるも、最終的に前期並みの売上高に着地
- コスト増加が続く環境の中、適正な価格交渉及び生産性向上に向けた取り組みが着実に成果を上げたことで、利益改善

### 自動車部品加工事業

売上高 **168** 百万円  
(前年同期比 7.5%減)

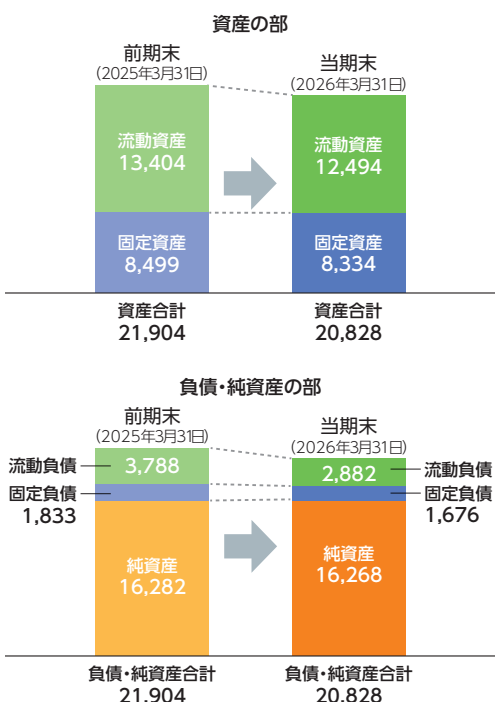
営業利益 **14** 百万円  
(前年同期比 60.7%増)



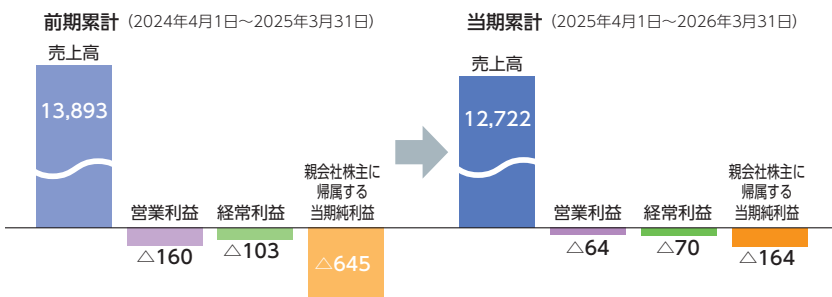
- 売上高は減少したが、利益改善に向けた継続的な取り組みを進めた結果、営業利益は増加

## ●連結財務諸表

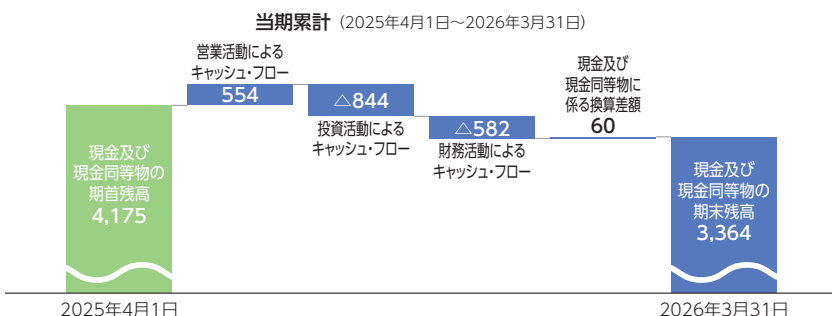
### 連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



### 連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



### 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 百万円)



## ● 会社情報・株式情報 (2026年3月31日現在)

## 会社概要

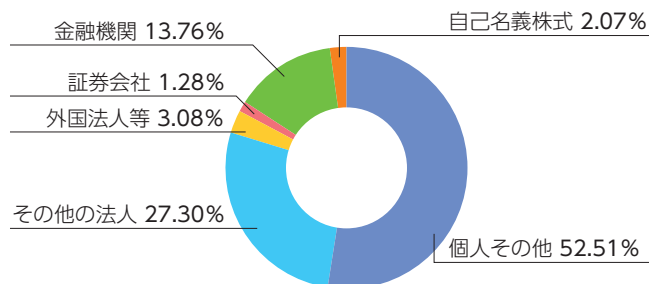
商号	高松機械工業株式会社
英文商号	TAKAMATSU MACHINERY CO., LTD.
設立	1961年7月
資本金	18億3,539万円
本社	石川県白山市旭丘1丁目8番地
従業員数	連結:524名 単体:469名

事業内容	● CNC旋盤等の製造、販売及びサービス・メンテナンス
	● 部品、コレットチャック等の製造、販売
	● IT関連製造装置の製造
	● 自動車部品の加工
	● 資源ごみAI自動選別機の製造

## 株式の状況

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式総数	11,020,000株
1単元の株式数	100株
株主数	3,200名

## 所有者別株式分布状況

アンケートご協力をお願い  
〈单元株主の皆様へ〉

株主の皆様からのご意見・ご要望を今後の活動の参考とさせていただきますため、WEBアンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。所要時間は約5分です。

## アクセス方法

下記の方法でアクセスいただき、表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

## パソコンから

下記のURLからアクセスいただけます。

## スマートフォン・携帯電話から

二次元コード読み取り機能のついたスマートフォンまたは携帯電話をお使いの方は、右の二次元コードからアンケートサイトへアクセスいただけます。

締切 **2026年9月30日**

抽選で200名様に、  
**QUOカード500円分**を  
進呈いたします。



## ● 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
株主確定基準日	(1) 定時株主総会 3月31日 (2) 期末配当金 3月31日 (3) 中間配当金 9月30日 (4) その他必要ある時 あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031 受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)
(インターネットホームページURL)	<a href="https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency">https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency</a>
公告の方法	当社ホームページに掲載 <a href="https://www.takamaz.co.jp">https://www.takamaz.co.jp</a>
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場
お問い合わせ先	管理本部 企画経理部 TEL 076-274-1410〈直通〉 FAX 076-274-1418

## 【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会については、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

## 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいますが)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。